

平成 18 年度当初予算 施策別概要

3 4 4 高齢者保健福祉の推進

(主担当部局：健康福祉部)

- 34401 介護保険制度の円滑な推進 (健康福祉部)
- 34402 介護基盤の整備促進 (健康福祉部)
- 34403 高齢者の在宅生活支援体制の確保 (健康福祉部)
- 34404 高齢者の社会参加環境づくり (健康福祉部)

< 施策の目的 >

(対象) 高齢者が

(意図) 必要な介護・福祉サービスを身近な地域で利用している

< 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H 1 5 年 度	H 1 6 年 度	H 1 7 年 度	H 1 8 年 度
在宅介護サービスの 利用率 (%)	目標値	-	5 8 . 7	6 0 . 0	6 1 . 0
	実績値	5 7 . 5	5 9 . 0	6 0 . 1	

介護を必要とされている高齢者等のうち、在宅介護サービスを利用して在宅での生活をおくっている高齢者等の割合 (介護保険事業状況報告)

< 平成 18 年度に残っている課題 >

要介護高齢者の増加に伴い、真に施設サービスを必要とする高齢者が安心して暮らせるための基盤整備を行うことが必要です。

平成 18 年 4 月からの改正介護保険法に基づき、効果的な介護予防サービスを提供し、住み慣れた地域で過ごしたいと願う高齢者が地域で安心して暮らせるよう、市町村における介護保険制度の新予防給付、地域支援事業の効果的な実施を支援する必要があります。

円滑で適正な介護サービスの実施に向け、介護支援専門員等の人材確保や資質向上を図るとともに、介護サービスの適正化等に対する支援を行う必要があります。

介護サービスの利用者がより良いサービスを適切に選択できるようにするため、介護サービス事業所を選択するのに十分な情報を取得できるしくみづくりが必要です。

高齢者の生きがいと健康づくりに向けた取組が求められています。

< 平成 18 年度の施策の取組方向 >

特別養護老人ホームについては、介護保険事業支援計画等に基づき、引き続き重点的に整備を進めます。また、入所施設でのより家庭的な生活環境を実現するため、新施設については個室・ユニットケア型の整備を推進します。

改正介護保険法に基づき、効果的な介護予防サービスを提供するため、介護予防マネジメントを担う地域包括支援センターの保健師や社会福祉士、主任介護支援専門員の資質向上に向けた研修会を実施します。

介護サービスの円滑で適正な実施のために、介護支援専門員等の養成や資質向上をめざした研修、介護保険事業者に対する指導、介護サービスに対する苦情処理などを実施します。

利用者がより良いサービスを適切に選択できるしくみづくりとして、介護サービス情報の公表を推進します。

地域の高齢者が健康で生きがいを持って暮らせるようにするため、さまざまな社会活動への参加機会を確保します。

<主な事業>

(重) 特別養護老人ホーム整備事業 【基本事業名：34402 介護基盤の整備促進】

当初予算額： 2,013,061千円 1,225,800千円

事業概要：特別養護老人ホーム及び介護専用型ケアハウス等の整備を重点的に促進するため、社会福祉法人等に施設整備に要する経費を補助します。

(新)(重) 地域包括支援センター職員等養成研修事業

【基本事業名：34403 高齢者の在宅生活支援体制の確保】

当初予算額： - 千円 10,056千円

事業概要：効果的な介護予防サービスを提供するため、介護予防マネジメントの実施を担う地域包括支援センターの保健師や社会福祉士、主任介護支援専門員の資質向上研修を実施します。

(重) 安心して利用できる介護サービスづくり事業

【基本事業名：34401 介護保険の制度の円滑な推進】

当初予算額： 53,316千円 99,178千円

事業概要：介護サービスの質の向上と利用者等の施設選択に資するため、「介護サービス情報の公表」及び「みえ福祉第三者評価制度」の推進を図ります。

(新) ショートステイ空床情報検索システム構築事業

【基本事業名：34401 介護保険の制度の円滑な推進】

当初予算額： - 千円 1,712千円

事業概要：介護老人福祉施設や短期入所生活介護事業所のショートステイ利用可能情報の検索システムを構築します。

(新) 地域貢献シニア参画支援事業【基本事業名：34404 高齢者の社会参加環境づくり】

当初予算額： - 千円 9,348千円

事業概要：従来、福祉サービスの一方的な受け手であった高齢者が、地域・家庭が抱える課題に対応すべく専門的知識・技能を修得し、その豊富な経験を活かし、公とともに福祉サービスの提供者となっただき、地域貢献していただくことを支援します。